

第40号

みずき野町内会だより

<http://www.mizukino-chonakai.org/>
e-mail: mizukino200902@jcom.home.ne.jp

2022年8月10日(水)
発行人
守谷市みずき野5-3-4
みずき野町内会
会長 山下 勝博

みずき野集会所
TEL/FAX 0297-48-2971



2022 みずき野まつり

7月23日(土)



当日は、朝から気温がぐんぐん上がり、会場である中央公園は午後には猛暑日となりました。コロナの影響でここ2年間は大型のイベントは全て中止とされてきましたが、感染者数が低下して来た今年は「まつり」への期待が高まり実施に向けて鋭意準備が進められて来ました。開催の直前になって再び感染者の急拡大が見られるようになりましたが、会場の主だった場所に消毒用アルコール設置するなど感染予防対策を施したうえで開催されました。久々の大型イベントとあって住民の皆さんは堰をきったように開始時間の10時になると、ぞくぞくと集まってきました。



学生プロジェクト ブース

会場内は、食べ物を扱った多くの店が出店し、どの店も大盛況でした。芝生ひろばに初めて設営したウオーターライダー・プールなどの遊具には、子どもたちに大人気で超満員でした。ステージでは、和太鼓「円」による和楽器三重奏と女性クラシックエンターテイメント「ミュージスター」のプロ演奏を楽しみ、最後は恒例のみずき野音頭などの歌に合わせて盆踊りを19時半まで楽しみました。



(広報委員)

和太鼓「円」



伊藤ケイスケさん



高田淳さん



小泉なおみさん

響芸

MUSISTAR (ミュージスター)



Momoさん



Yuriさん



Yuuさん



Marinaさん





まちづくり協議会構成団体の活動紹介

会長 山下 勝博
事務局 泉 正男

守谷市の提案の下、令和元年8月29日、“みずき野地区まちづくり協議会”を設立いたしました。

みずき野地区まちづくり協議会は現在 18 団体の構成委員から成り立っております。

8月号では、「6丁目チョイサポの会」と「子ども育成会」の活動を紹介します。

18団体の構成委員	
1 みずき野町内会	10 防犯連絡員協議会みずき野支部
2 NPO法人明日のみずき野を考える会	11 ティーふれ
3 6丁目チョイサポの会	12 談話室花みずき
4 地域敬老行事実行委員会	13 夏まつり実行委員会
5 子ども育成会	14 郷州里山の会
6 郷州小学校	15 みずき会
7 防災部・自主防衛隊	16 ポケットの会
8 社会福祉協議会みずき野支部	17 たんぽぽの会
9 学生プロジェクト	18 もりあく

6丁目チョイサポの会

(チョットしたお困り事サポートをする会)

SDGs “もったいない市”でお宝さがし!

- 開催日 5月8日(日)9~12時
- 場所 6丁目さくらんぼ公園
- 参加者 地域住民や友人
- 内容 持ち寄り品を無償で提供し、無料で自由に持ち帰る。

当日は朝から、衣類 50 点・食器類 40 点・パラソル付きテーブル 2 セット・ベビーチェア・空気清浄機・ラジカセ・高級バッグ・本・漫画本セット・譜面台・七輪・ダンベル等、150 点程のお宝がぞくぞく集まりました。

提供した方からは、タンスや食器棚がスッキリした。不要になったキャンプ用品が全部出せて良かった。

もらった方からは、欲しかったものが手に入った。また、やって欲しい！等の声が寄せられ楽しい交流の場に成りました。

(代表 川名敏子)



子ども育成会



日頃より、みずき野子ども会育成会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

5月14日(土)、さくらの杜公園にて3年振りに1年生歓迎会を開催しました。(参加者51名、うち10名が1年生)当日は、直前まで雨が降り足元のコンディションが悪い中ではありましたが、1年生の自己紹介から始まり、公園全体を使った謎解きゲームで参加した子どもも大人も楽しむことができました。

コロナウィルス感染症の不安がある中での活動でしたが、町内会の皆様のあたたかい見守りとサポートに心より御礼申し上げます。

(子ども会育成会会長 貝塚文子)





2022年“ホタル観察会”

みずき野町内会
郷州里山の会
まちづくり協議会



19時10分頃 里山会場へ集まる様子

夕方から雨が降るという天気予報に反して、幸いにも雨は全く降らず、19時過ぎには総勢 100 人近くの家族連れが集まりました。

ホタルを見るのが初めての人は、この日を楽しみにしていたようです。ホタルは郷州里山の会の代表である小田部さんが養殖して羽化させたヘイケボタル 40 匹位を準備しました。

暗くしたテントの籠の中にあるホタルを順番で一通り見たあとに、籠から取り出したホタルを子どもたちの手の上や指先に乗せ、ホタルが光を発した時は喜びの大声が里山中に響き渡りました。 (広報委員)



ホタル観察にあたり小田部さんから豆知識の説明



ホタルが手や指の上で、発光した時は大喜び



テントの中にあるホタルを見るために並ぶ家族の皆さん



郷州里山の会
代表 小田部さん談

ホタルが羽化する時期とこの観察会をいつ実施するかの見極めが難しい。というのも、ホタルが成虫すると寿命は、約 1~2 週間だからです。

この期間にホタルは子孫を残すのです。



6月19日(日)に夏と冬すっかりみずき野の風物詩となった竹灯りと切り絵のイルミネーションが今年もきれいに点灯しました。



代表 根本知茂さん

製作・設置は、妖怪研究所の皆さん。出先で見かけた竹灯りにヒントを得て、代表の4丁目根本さんが町内会での竹灯りのイルミネーションを提案。2018年の冬に試験的に始まり、コロナ禍でイベント活動が制約される中でも工夫を重ねて規模も大きくなり、今回で7回目となりました。竹は乾燥すると割れたり色も変わってしまうので毎回作りかえる必要があります。設置作業は梅雨の合間の炎天下で汗だくです。電気工事士の資格をもつ根本さんをはじめ、仲間の皆さんが現役時代から培ってきたさまざまな技術や回を重ねて得られたノウハウを活かしてテキパキと作業を進めている姿は格好良かったです。(広報委員)

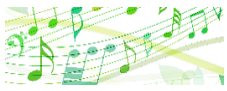


七夕飾りに願いを込めて



中央公園のみずき野ひろば前に6月末～7月10日(日)まで七夕飾りがたなびきました。募集していた短冊の数がちょっと少なかったのが残念ですが、それでも「コロナが終わってマスクを外せますように」「絵本作家になれますように」「足が速くなりますように」等など、短冊に書かれた子どもたちの願いが叶いますように！(広報委員)





大盛況、大好評だった「風薫るコンサート」！！

みずき会主催
5月31日(火)開催

ヴァイオリン、チェロ、ピアノの生の三重奏「風薫るコンサート」が 5月 31 日(火)郷州公民館で開催されました。今回のコンサートは案内開始後あっという間に定員をオーバーするほどのフィーバーぶりで、申し込みをされた多くの方々は入場が叶いませんでした。

コンサート前半の4曲はクラシックでその4曲目はベートーベンのピアノ三重奏第1番、これぞクラシック、凄い迫力で身体全体に響きわたりしびれました。後半の4曲は軽いテンポで心軽やかにノリノリに。Top of the World、エトピリカと続き全8曲が終わりました。すると参加者全員から猛烈な拍手の嵐。演奏者は心を決めてアンコール曲「春よ来い」(松任谷由実)を演奏していただき、コンサートは大声援の中終了しました。



ヴァイオリン
山本 雅子 さん



多くの来場者で満席に



演奏者の奏でる生の音色を満喫



チェロ
吉川 真未 さん



笑いに包まれた楽しいトーク



鳴りやまぬ拍手の中、終演に



ピアノ
渡邊 美音 さん

参加者の皆さんの顔は、コンサートの前後で全く違っていました。前が普通とするならば後はもう晴れやかで満足感溢れるお顔に変わっていました。音楽っていいですね。参加者に直接聞いてみたら、「とにかくとても良かった」、「今日は本当に来て良かった」、「3つの楽器の3重奏は凄く合っていた」、「コロナで外出を控えていたが思い切って参加して良かった」、「心の奥まで響き沁みた」と口々に話されていました。

みずき会の次のコンサートは来年の2月を予定しております。皆さん、次回をどうぞお楽しみに。演奏者も私たちも皆さまをお待ちしております。

(みずき会会長 小田部和夫)

編集後記

気象庁は統計開始以来、もっとも早い梅雨明けを 6月27日(月)に発表しました。途中、梅雨空が戻った天気となりましたが、みずき野まつりが開催される7月23日(土)に近づくにつれ蒸し暑い日が戻って当日は猛暑日となりました。

夏まつりは、住民が一番楽しみにしているイベントでしたが、ここ2年間は、コロナのため中止にしてきました。ここ茨城県でも日増しにコロナ感染者数が増えています。町内会役員の人達たちは、コロナ感染予防を徹底することで、実施に踏み切りました。

また、このみずき野町内会だよりは、2012(H24)年8月25日(土)創刊号から今回でちょうど40号となります。50号、100号と発刊できるように引き続き頑張ってまいります。

(広報委員 青木 正)